

○議長（堀江 政武君） 1番、春田新一君。

○議員（1番 春田 新一君） 残り5分となりました。そうだろうと、今の答弁のとおりだろうというふうに思います。やはり避難所に行くのが端と端になって、避難所に渡って、避難所に行けないというのがあります。それは結局2つになるわけですよ、そういうところは。そういう地区は2つつくらなければいけないというふうに本当はなります。しかし、それが多額な予算あるいは県のほうも指定をされるのかどうか、それは市の首長が決定することだろうというふうに思いますが、大体難しいところがあります。しかし、孤立ができないように2つすれば、もう十分避難所としては効果がありますということになれば、それも今回、今後見直していかなければいけないのかな。それは、やっぱり地域の意見を聞きながらやっていくのが一番ベターかなというふうに思います。

それで、学校関係は耐震化が99%、県のほうでも県立も合わせて96.8%いってますということでございますので、学校も安全な避難所にはなりますが、学校もトイレが昔のままのトイレになっております。やはり避難所として指定をされるなら、トイレの改修も必要になってくるんじゃないかなというふうに思っております。

そういうことで、避難所避難所で、何か梅雨になって避難所の話をして、大変申しわけありませんでしたが、市長の答弁の中でよくわかりました。新しい体制の中で、一生懸命、対馬丸をかじ取りをしていただきますようお願いをいたしまして、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（堀江 政武君） これで、春田新一君の質問は終わりました。

○議長（堀江 政武君） 昼食休憩とします。再開は午後1時からとします。

午前11時47分休憩

午後0時59分再開

○議長（堀江 政武君） 再開します。

午前に引き続き、市政一般質問を行います。4番、船越洋一君。

○議員（4番 船越 洋一君） 清風会の船越洋一でございます。通告に従いまして、大きくは2点について、市長にお伺いをいたします。

まず1点目は島内の道路網等について、2点目は南部地域の振興策について、以上2点について質問をしますので、市長の明快なる答弁を求めるものでございます。

まず、市道仁田志多留線の犬ヶ浦、御園、越高地区の防潮堤の設置ができないかでありますが、特に檜瀧、犬ヶ浦については、満潮時には北西の強い風が吹くと道路が冠水するほどでございます

す。ここを何とか冠水しないように防潮堤を設置できないかということでございます。

次に、県道56号線上県小鹿港線の道路改良については、上対馬地区の東西を横断する大変重要な路線であります。地区の人たちの長年の夢でもあります、振興計画に上がっているとは思いますが、早期の実現ができないかお伺いをいたします。

次に、津柳地区の土砂災害防止対策及び防風ネットの設置についてであります、市区内北側の斜面の地肌がイノシシ、鹿の被害でむき出しになっており、土砂崩れの危険性がありますので、早急な対応が必要と思われま。

また、海岸に防波堤がありますが、特に冬場の北西の風はすさまじいものがあり、防風ネットがあれば風の緩和もできると思いますので、防風ネットの設置ができないか、これもお伺いをいたします。

次に、県道厳原豆殿美津島線、箕形加志間（吹崎工区）であります、この路線も、長年、地元から陳情、要望が出された経緯があり一日も早い着工が望まれますが、測量も終わったと聞き及んでおりますけれども、今後の見通しについてお伺いをいたします。

次に、県道厳原豆殿美津島線、椎根上棚間（殿浜線）の再開については、先日、同僚議員の質問に対し、市長の答弁は伺っておりますが、この路線は下対馬を一周する大変重要な路線の一つだと思います。粘り強く、国・県に対し、交渉して再開に向けて取り組んでいただきたいと思いますが、改めて御答弁を求めます。

次に、重要港湾厳原港の設備についてであります、国内ターミナル及び国際ターミナルの整備は何年に完了予定なのか、また、厳原港南側に位置する虎崎、通称カッターといいますが、あそこを埋め立てて保冷倉庫等をつくり、韓国、中国に向けた物流の中継基地として活用できる施設をつくるべきだと思いますが、市長の考え方を伺いをいたします。

次に、2点目の南部地域の振興策についてであります、この地域の振興策については、市長も御承知のように、前市長に2回にわたり質問した経緯があります。比田勝市長も理解をいただいているとは思いますが、私は、この地域は日本のルーツが秘められた地域だと思っております。2回の質問事項については、議会答弁事案対応経過報告書をいただいておりますが、いずれも対応継続中でありま。改めて伺いをしますが、市長は南部地域の振興は必要だと思っているのかも、あわせて伺いをいたします。

以上、7項目について市長に質問をいたしますが、数が多いので1項目ずつ詳細に趣旨説明をいたしますと時間がかかりますので、大枠の説明をさせていただきました。あとは市長の答弁をお伺いした後に、一問一答にてお聞きしたいと思いますのでよろしくお伺いをいたします。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 船越議員の質問にお答えいたします。

まず、島内道路網についてでございますけれども、初めに市道仁田志多留線でございますけれども、この路線は、犬ヶ浦地区を起点に終点の志多留までの改良延長2,333メートルを、平成17年度より整備しております。平成28年度までに志多留地区から伊奈地区までの1,333メートルが完成予定でございます。越高工区、御園・犬ヶ浦工区につきましては、本年度、路線測量及び設計を着手し、整備を進めていく予定としております。

越高工区におきましては、現在の道路は海岸との兼用護岸であり、台風時には道路への越波、越流、そしてまた潮の飛沫が民家まで及んでいるものでありますので、今回の道路整備にあわせて、幅員はもとより波浪に対する整備も必要と考えており、地区と協議を重ねながら進めてまいり予定でございます。

次に、御園地区から犬ヶ浦地区までの改良につきましても、両地区と協議を重ね、御園地区におきましては波浪による越波等の影響はなく、漁港施設も必要な防風柵等が設置されております。犬ヶ浦地区におきましても、仁田港湾の県管理の臨港道路の起点から終点までの1,715メートルの区間が、高潮や波浪時に道路及びその背後の宅地に浸水被害がたびたび発生しております。地区要望を初め、市といたしましても、今後、県の港湾管理でありますので、県のほうにも強く要望を行ってまいりたいと考えております。

次に、上県小鹿港線の件でございますけれども、県におきましては、本年2月に開通いたしました佐須坂トンネルを初め、国道では佐須奈の大地工区、佐護の美止々工区、主要地方道では吹崎工区、瀬工区、尾浦工区等未整備区間解消に向け、積極的に事業着手していただいているところでございます。

現状の国県道未整備区間としましては、一般国道3カ所、主要国道11カ所、一般県道3カ所の計17カ所を未整備区間として要望をしております。

次に、峰町の津柳地区の土砂災害の防止についてでございますけれども、津柳地区におきましては集落の背後に段々畑があり、そこに鹿が入ってきて草木の食害を受け、降雨によって表土が民家裏まで流出している状況であります。そこで、居住区域内での防護柵対策として、平成25年度から平成26年度にかけて、市の単独補助を受けて防護柵の設置をされてきましたが、地形の状況により、防護柵の上を越えて鹿が畑に入ってきている状況だということでもあります。平成28年度にも地区要望として、居住区内の防護柵資材費補助が申請なされている状況です。申請に基づいて平成28年度に許可をする予定で、地区に防護柵を設置してもらいますので、よろしくお願ひしたいというふうに思います。

次に、この津柳地区の防風ネットの件でございますけれども、この津柳港におきましては、現在、平成29年度からの次期長期計画の策定に向け、市管理漁港40港分の5カ年計画の策定をしているところでございます。一方で、漁港整備事業に対する国、県の状況は年々厳しくなり、次期

長期計画におきましても事業費の削減を求められている状況でございます。

このような状況の中、市としましては、漁民皆様の要望を第一に計画を策定中でございますが、補助事業におきましては事業費の最低限度、費用対効果等の制限があり、小規模港につきましては単独での整備が困難な状況にあります。そこで、津柳漁港についても同様でございますが、現状では整備計画の策定が困難な状況であるということで、今後において、近隣の漁港との合併を前提とした1漁港としての整備計画を立てる必要があると思います。

議員御指摘の防風ネットにつきましては、暴風時における漁民皆様の苦労は十分理解しているところでございますので、津柳漁港、近隣の漁港との合併を前提に、他の事業と組み合わせて次期長期計画へ組み込むよう検討してまいりたいと考えております。

先ほどの上県小鹿港線の件で、少し追加させていただきます。

この上県小鹿港線につきましては、未整備区間ではございますけれども、現在のところ、要望区間には入っていないということでございます。ただし、この路線は対馬北部を横断する重要な路線であることは承知しておりますけれども、平成11年度を最後に改良工事が終了しているところであり、現在、改良計画はないということでございます。今後においては、国県道の進捗状況を見ながら要望活動を行ってまいりたいと考えております。

次に、主要地方道巖原豆殿美津島線（吹崎工区）についてでございます。

本区間は、計画延長2,220メートル、総事業費30億円で平成26年度に着手し、平成27年度までに路線詳細設計、地質調査、用地測量及び2号トンネルの詳細設計等を実施しているところでございます。今年度は、地すべりが想定される区間の地質調査及び橋梁の詳細設計を行う予定であると聞いております。

なお、今年度、早い時期に地元説明会を開催する旨の報告を受けております。

また、この工区につきましては、入会林野整備が必要となっております。箕形地区につきましては、市が行う作業は終了し、現在、県の審査中で、加志地区におきましては、市が行う作業を今年度未完了を目指して、現在事務を進めているところでございます。

次に、主要地方道美津島（殿浜工区）の件につきましては、先日の齋藤議員の質問の中にもありましたけれども、ビー・バイ・シーが0.22ということで、1.0を満たすには現時点でも大変厳しい状況ではあるとは思いますが、県のほうに強い要望を重ねていきたいというふうに考えております。

ただし、この学校統合等によりまして、かなりの、この殿浜線につきましては時間等がかかると思いますので、その間、代替路線である市道の改良を実施していくよう県のほうとも協議を重ねていきたいというふうに考えております。

次に、2点目の旧豆殿支所跡の拠点施設の件でございますけれども……（「重要港湾がある」と

呼ぶ者あり) 済いません、重要港湾があったですね。済いません、どうも。厳原港の整備につきましては、現在、国の直轄事業及び長崎県において整備がなされているところがございますが、今回は、現在整備中の岸壁の対岸になります通称(カッターレ)に、新しい岸壁の整備計画ということにつきましての答弁をさせていただきます。

現在、厳原港の整備につきましては、港湾計画に基づいた整備がなされておりまして、新たな岸壁の整備となれば、当然、港湾計画の変更が必要となります。この手続には、新規、改訂、一部変更、軽微な変更とあり、今回の新たな岸壁整備の場合、改訂に当たります。改訂の場合、長期構想に係る検討を行い、10年から15年先のあるべき姿を港湾計画として位置づけることとなります。この位置づけに際しては、その裏づけとなる岸壁の需要、社会情勢等を説明し、その実現性を問われることとなります。これまでの動きとしましては、国会議員や長崎県知事等が来島された際には、市の将来構想といたしまして、当該岸壁の必要性を説明し、岸壁の新設を要望してきた経緯がございますが、国、県、関係機関との事前協議に入れる段階には、まだ至っていない状況でございます。

したがいまして、申しましたとおり、今後におきましては、厳原港港湾計画の改訂に向けて木材、水産物等を初めとする貿易活性化や大型客船等の誘致対策のための岸壁、あるいは護衛艦や防災時の岸壁利用等々により、現有岸壁では足りないんだというつくり込みが不可欠となりますので、関係部局で十分検討するとともに、国や県や関係機関とも協議しながら実現に向けて動いてまいりたいと思っております。御理解のほど、よろしく願いいたします。

次に2点目の旧支所跡の拠点施設の活用についてでございます。

旧豆酞支所跡の拠点施設としての活用という御提案に対しましては、教育委員会のほうでも検討されているところでありますけれども、赤米行事や亀ト神事等の民俗行事に関するパネルや写真等の展示といった方法が考えられます。

また、5月31日に棧原豆酞総区長と主藤区長が来庁され、直接、話をさせていただきましたが、今回は、旧豆酞支所のトイレを住民や観光客が利用できるようにできないかという申し出がありましたので、担当者が現地を確認した結果、旧公民館や2階に上る階段側の通路をドアで仕切るなどの防犯対策を施した上で利用することは可能であると考えられます。これに伴いまして、観光客等に対し、旧事務所内に民俗行事に関するパネルや写真等の展示をして、豆酞地区に関する観光資源のPRをすることも有効な手段だと考えております。

さらに、バス待合所の設置の件につきましても、以前からお話ございました。豆酞支所の事務所部分を活用することで対応ができないかということも含め、今後、地区の方と防犯や管理体制及び清掃などの管理面についても相談をさせていただきたいというふうに思っております。

次に、乱川の離合場所の件でございますけれども、市といたしましても、豆酞地区内の離合場所

設置の必要性は十分に認識しておりますが、旧豆敷支所の利活用の内容によって、大型バスの回転のため、乱川部分のほうに張り出して離合場所を設置することについて検討をする予定にしておりましたが、現状では利活用の計画作成に時間を要する見込みが強いため、今後は旧豆敷支所前だけではなくて、まずは離合場所として整備ができる場所の選定を行い、県との協議、要望を行いながら設置を進めていきたいというふうに考えております。

次に、南部地区の空き家対策を島おこし協働隊の活動として推進できないかという御提案でございますが、議員御指摘のように対馬の南部地域におきましても高齢化が進み、また、空き家が増加している現状がございます。

また、議員から新たな感覚と発想を持った島おこし協働隊の活動によりまして、高齢化が進む地域を支援し、地域に活力を生み出していくことが必要であるという御提案をいただいております、平成28年度当初から協働隊の採用を目指し、移住希望者への情報提供や島内の関係機関と連携して移住を促進していくための活動を担う隊員の募集を行っておりますが、現在まで採用には至っておりません。引き続き、協働隊の確保に努めてまいります。

次に、多久頭魂神社の乗り入れにつきましては、議員御指摘のとおり、農道からの現道を利用した乗り入れ以外に方法はないものと考えております。

ただ、本件につきましては、地域づくり計画の完成が必要であると思っております。この現道は幅員が狭いためには拡幅改良を行うこととなり、用地買収及び立木補償等が必要となります。用地買収及び立木補償の交渉を行うに当たり、土地所有者の協力が必要となりますが、土地所有者に対し道路改良の必要性を理解していただくためには、地区住民の意見や要望が集約された地域づくり計画が必要であると考えております。

また、本地区は字図混乱地区に近い状態の地区でございます、地籍調査も完了しておらず、境界の確定及び字図訂正並びに所有権移転等にかかなりの困難が予想され慎重な対応が必要であります、地域づくり計画の内容をもとに幅員や離合場所等を検討し、道路改良に必要な用地の状況を精査し、買収、登記が可能な土地から順次、用地取得を進めていきたいと考えております。

議員御承知のとおり、市内の各地区の高齢化は著しく、地区のコミュニティーを維持していくにも大変苦慮しております。このような状況の中、地域住民の皆様と行政が協議を進め、自分の住んでいる地区の将来像を考え、その課題について共有し、解決について議会と協力し、スクラムを組んで取り組むことによって物事が前に進むと考えております。

現状では、議員の御質問の南部地域の振興策について、前進した報告ができておりませんが、喫緊の課題解決のために、早期に実現できることについては十分取り組んでまいりたいと思っておりますので、御理解をよろしくお願ひしたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

○議長（堀江 政武君） 4番、船越洋一君。

○議員（4番 船越 洋一君） 数が今回多いもんですからね、時間が足りるのかなと思って、私も前置きは抜きにして始めたんですけど、あと26分ですか。

まず、1点ずつ片づけたと思いますが、仁田志多留線、これの御園についてはいいんですが、越高は今、改良でやっていくということですから、これはいいとしましょう。

ところが、この檜滝から犬ヶ浦、ここは檜滝から堀切を出ていくと、すぐ海岸に出ます。海岸のずっと奥のほうは埋め立てしてあるんですが、そこら辺までの区間なんですよね。あそこは、私もちょうどわけあって、2月ごろ、ずっとあそこを歩いてみたんですが、冬の寒いときに北西の風が吹いて、満潮時でしたよ、もう吹き荒れてくるんですよ。だから、その区間だけでも犬ヶ浦のところは早くやってやらんと、よくよく今まで辛抱してこられたかと、私はそういうふうな感がいたしましたよ。だから、こういうことは、やはり地区の人たちが一番苦勞しとるわけですから、行政がそこら辺をしっかり見て、やっぱり応急処置、今までも早くできたはずなんですけど、それを見過ごしたという経緯がありますよ。だから、そこら辺を早急にできるような対応をちょっと考えてみてください。どうぞ。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 申しわけございません。犬ヶ浦地区におきましては、ことしの区長会議の折にも区長さんのほうから要望等も受けまして、この夏の高潮時にも、また直接調査にも行きたいということも答弁しております。そういうことで、ただし、ここが聞くところによりますと、一部用地の関係で交渉がうまくいってないところがあるという話も聞いております。ですから、そこら辺も解決を図りながら、県にもお願いをしていきたいというふうに考えております。

○議長（堀江 政武君） 4番、船越洋一君。

○議員（4番 船越 洋一君） いろいろ、地域、地域に問題があるところは、やはりそういう問題が残ってるからあるんですよ。だから、やっぱり行政のほうがしっかりそこら辺を取り組んでやって、地元の人たちの中にもう少し入って行ってやって、早く解決できるようにしてやらんと、困るのは地域の人たちなんですよ、苦勞しちよるのは、行政じゃないんです。だから、そこら辺はもう少し、しっかりと地域の人たちに寄り添った行政をやっていただきたいなと思います。これは、よろしく願いしときます。

次に行きます。

県道56号線上県小鹿港線、ここは全く入ってないと、今、市長の答弁なんですけど、これは、先ほども市長も言いましたが、上対馬地区の東西を横断する大変重要な路線ですよ。ここに1本、道ができることによって、上対馬は真ん中をぼおんと突っ切ることになるんですよ。豊玉から、例えば今、浦底から分かれるわけですね。県道39号線上対馬豊玉線、これが上対馬まで行くんですけど、これが浦底から分かれています。片っぱは、左に行くと、国道をずっと382号線が

行くわけですが、県道39号線を上がっていくと横断する道というのは、曾から豊玉に抜ける、それから吉田に抜ける道、それから佐賀から大久保に抜ける道です。それから、こう上がっていきますと、あとはないんですよ。そうしますと、舟志から佐須奈に抜ける道はありますが、この間が全くないから、抜けろうにも抜けられるところがないんです。だから、ここは大変重要な路線だと私は思います。確かに、ここはトンネル掘らないかんから金がかかるとは思いますが、しかし、こういう金がかかるところは早くから計画を立てて、ずっと組み入れとかんとなかなか順番が来ませんので、そこら辺はしっかり組み立てて、早くその申請ができるようなことを準備していったかと、これは、いつになるかわかりませんよ。お願いします。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 確かに、議員さんおっしゃられるように、この上県小鹿港線につきましては、東沿岸と西沿岸に通ずる、重要な路線であると認識しております。

そういうことで整備計画等はいろいろありますけども、また県に強く要望を重ねていきたいというふうに考えております。

○議長（堀江 政武君） 4番、船越洋一君。

○議員（4番 船越 洋一君） 市議会の中にも国県道特別委員会ちゅうのありますよね。やっぱりそういうところにも理事者のほうから提起をしたり、また、その特別委員会の委員さんたちに、そこら辺、現地を1回見てもらって、そこを一緒にした中で、県とか国とかに一緒に陳情に行くんですよ。そういうことは、ぜひ動かんとだめ。じっとしとつても、物は先に移りませんよ。行動力が伴わんと物事は先に行きませんのでね、そこら辺も含めてお願いしておきますが、よろしいですか。どうぞ。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 議員さん、おっしゃられるように、今後におきましても、国県道の進捗状況等と合わせながら、また要望活動を強めていきたいというふうに考えております。

○議長（堀江 政武君） 4番、船越洋一君。

○議員（4番 船越 洋一君） この路線だけは、市長、しっかりやってくださいよ。これは本当重要な路線ですよ。上の人たちは本当大変なんですから、回らないかんわけやから。一本、ぽんと切ることによって変わってきますよ。

先ほどの市長答弁の中でも、誰かの答弁で言われてましたが、交通アクセスをしっかりせんと島の活性化はないんですよ。それをやるには真ん中を横断させることが一番早いことなの。ぜひ、これは真剣に取り組んでくださいよ。よろしくお願いしておきます。

次は、箕形加志間、吹崎工区ですね。先ほど、市長の説明を聞きました。大分先に進んでおるなという気配はしますが、ここも本当に、尾崎地区あたりはマグロの養殖をやっており、また餌

も、あそこは運ばないかん、大変苦勞しよるとこなんです。ですから、一刻も早くこれが着工できるように最大限の努力をしてくださいよ。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） この主要地方道につきましても、議員さんおっしゃられるように、マグロの一大生産地でもありますし、特に保冷車等も多く通行いたしますので、重要な路線だというふうに認識しております。今後とも一生懸命、早く完成となるよう、国や県に陳情等努めてまいり所存でございます。

○議長（堀江 政武君） 4番、船越洋一君。

○議員（4番 船越 洋一君） 議会と行政とが一体となって、前回の市長のときにはそういうことはありませんでしたけども、今回は、やはり議員も理事者側と一緒に陳情活動をやって、少しでも物事が先に行くような努力をしてもらわないかんと思いますよ。よろしく願いしておきます。

次に、椎根上槻間の殿浜線なんですけど、これはきのうの同僚議員の質問で、その答弁は聞きました。現在までに13億はかかっていると、全体的には70億かかると。そうでしょう。しかし、13億は、もうかけてるんですよ。かけてるんです。ここも重要な路線で、例えば今、巖原から佐須坂トンネルは、おかげで開通しました。小茂田に抜けます。これを西沿岸を豆殿まで行こうとすると、あそこが一番ネックになってくるんですよ、ネックに。だから、そういう意味で殿浜線ちゅうのは工事着工したはずなんです。それを今、費用対効果の問題で交通量がないからだめですよと、ただ一概にそれだけで言われて、わかりましたというわけにいきませんよ。13億かけてそこまでやってきてるんですからですね。それであれば、やはり地元の人たちとかに期成会でもつくっていただいて、地元も一生懸命にならないかんと思うんですよ。行政にだけ頼む頼むではできんと思います。地元も期成会をつくって、そして真剣に取り組んで、何とか再開できるようにということは、やはり議員も使っていただいて、そして国会の先生たちにもお願いをして、そこら辺が再開できる努力はあなたたちはできると思うんですよ。ぜひ、これも再開に向けてちょっと頑張ってください。よろしいですか、ちょっと。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 答弁の中でも申し上げましたとおり、今の段階では費用対効果が0.22だという話はしました。ただし、この費用対効果を見れば、なかなか今の要望の中で通らないということでもございますので、私自身といたしましては、もちろん粘り強く、この路線の存続等はやっていきたいと思っておりますけども、統合等を考慮いたしますと、今の市道の改良のほうも必要ではなかろうかなというようなことで、県のほうとも現道の改良も協議をさせていただきたいというようなことで答弁をさせていただいたところでございます。

ただし、今までの、この殿浜線につきましては、これをやめるのではなくて、今後も継続して要望はしていきたいというふうに考えております。

○議長（堀江 政武君） 4番、船越洋一君。

○議員（4番 船越 洋一君） この殿浜線、今、費用対効果のこと言われましたけど、巖原の臨港線をつくる時、ここも陳情に四、五回行きましたが、やはり費用対効果やられましたよ、費用対効果で。景観が悪くなるからだめというようなことでいろいろありましたが、結局はできましたよね。できました。できないのをできるようにしていくのが政治家ですよ。市長、しっかり腹に力入れてやってみてください。やれんことはないと思いますよ。お願いしときます。

それから、重要港湾巖原港の整備についてであります。これは今、岸壁の工事をされているんですが、ここをやっていながら、この国内ターミナル、国際ターミナル、こちらも建築していくと思うんですけど、これが完了時期がいつになるのか、予定は。

それと、今現在、シーフラワーでいいですか、韓国の船が入っていますが、ここに韓国の観光客がおりてくるんですけど、バスが二、三十台とまっておるんですよ。バスのとめるところ、ないんです。そうすると、あそこに空き地がありますけども、そこにはロープが張ってある。そうすると、そこにはその港湾工事をするものですから、資材置き場として確保しておるものですから、そこにバスは入ったらだめですよとなってきますと、バスはとめるところないんです。だから、工事が着工するまでの間でも、その縄を解いて、そしてバスをそこで待機させるいうぐらゐの配慮は必要じゃないかなと思う。意味がわかりますかね。だから、そこら辺も含めてちょっと考えてみてください。今言ったので、ぴんとくるかこんかわかりませんが、韓国から大亜高速が入ってきます。そしたら、入管済ませます。その間にバスは待つときます。待つ場所がないからそこで待機して待ってるんです。前第4港湾があった事務所の前のとこ、そこでずっと待つんですが、待つにもそこにアナゴを販売しちよる業者もおる、保冷車がおるんで、そこが通行ができんような状況にもなる。そういうことでは、バスも待つところがないじゃないかと。観光客が来てください、来てください言うても、船が入ってもバスの置き場所ありませんよではどうにもならんと思う。せめて、その10月の工事が着工するまでの間でも、バスを一時的にロープを外して、そこにバスがとめられるようなそういう配慮はぜひ必要だろうと思いますので、それも検討してみてください。

それから、巖原港のカッターの件なんです。これは港湾整備計画の中に早く入れて、そして審議会にかけんといかんわけですから。この重要港湾というのは、海上輸送網の拠点となる港湾その他の国の利害に重大な関係を有する港湾として政令で定めてあるわけですね。ところが、地方港湾とは、おおむね地方の利害にかかわる港であると、こういうことなんです。こだけ違いはあるんですが、やはり重要港湾ですから、いろんな貿易もせないかんですよ。

先ほど言われたように、その大型客船が来るところに着けないかんでしょうし、そういうことを踏まえると、今から先の対馬を考えたときに、重要港でその厳原港に大きな停泊所をつくることによって、それも必要ですし、それから冷凍倉庫とか、そういうものをやっぱり保冷する、そして、そこから中継基地として、また中国、韓国に出すというようなことも必要でしょうし。去年の、後で豆殿のことは言いますが、豆殿が去年はミカンが豊作だったんです。そうすると、ミカン箱にして1万ケースですよ。あれ10キロ入りですよ、1万ケース。ところが、はけんわけですよ。農協に出しても農協もはき切らん。何でかという、都会のほうでミカンつくるところ、たくさんあるわけですから、対馬からわざわざ運賃かけて送ってても、割に合わんというのがありますよ。だから、そういうものをやはり地元産の品物を保冷をして、冷凍ミカンにして韓国に輸出するという方法もあるでしょうし、いろんな考え方があると思うんです、利活用は。そういうことも含めた中で、全体的に考えた中で港湾整備計画というのはやっていかないかんとお思います。お願いします。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 私自身もこのカッタレの岸壁、そしてまた用地につきましては、以前から必要であるという認識をしておりますので、議員さんおっしゃられるように、一生懸命努力してまいりたいというふうに考えております。

そしてまた、先ほどおっしゃられた例の防疫事務所の前の用地ですかね、あそこのほうは、この前、うちの職員のほうが振興局のほうに出向いて協議をさせていただいたところ、どうも時間制みたいな形で一時開放していただけるというような話を聞いております。ちょっと詳しい時間までは承知しておりません。申しわけございません。

○議長（堀江 政武君） 4番、船越洋一君。

○議員（4番 船越 洋一君） 市長、そういうところに一つ一つ配慮してやって、観光客、例えば韓国から入ってくる人たちが遠くまで歩いてバスの乗り場に行かんでいいような、そういうおもてなしというのは、心というのは要りますよ。それをするのは行政なんです、民間じゃできませんから。そこら辺もひとつ配慮してやって、気持ちよく対馬に入ってもらうて、気持ちよく観光してもらうて、気持ちよくお金も使っていただいて、そして帰っていただくと、それが対馬の活性化につながりますから、よろしく願いしておきます。それは、市長のほうとも話をしているということですね。はい、ありがとうございます。

残り8分になりましたので、今度は南部地域に行きます。

ここは先ほど言いましたように、今、市長が2回やったやつをずっと説明されてこられましたけども、本当は南部地域の核になるところを1つ、つくらないかんとお思いますよ。今、支所跡がありますよね。ここを、離合場所をちょこっと何カ所かつくってやろうという、そういう細々

したことをやったらだめですよ。あそこを乱川をばあっと伏せてしもうて、そして大型バスがあそこからずっと回るように、東のほうに浅藻、久和、内院、あちらへ抜けていけるような、通り抜けができるようなことを考えんと、そこでちょっとかわしたからというたって、あそこで回らんわけですから。だから、そういう細々したことじゃなしに、そこをばあっと通して、道の駅的なものをその支所跡につくってやって、さあ、地元の人たちに、ここであなたたちがつくった産品をどうぞ売ってくださいと、それはあなたたちが考えてくださいと、そこまでしっかり行政も考えましょう、いうように、けつから行政がぱっと押してやることによって、地域ちゅうのは浮かび上がってくる可能性もありますのでね。それは地元の人たちのやる気も必要でしょう。しかし、それを仕向けていくのも行政でしょう。いろいろありますが、基本計画をつくって、地元の社長の意見を集約して、それからやりましょうと言うとったんでは、ここは今、高齢者率が43%ぐらいになってますよ。3,000人ぐらいおったところが、今はもう800人ですよ。だんだん冷え込んで来よるんですよ。

だから、上のほうは上のほうでやります。いいでしょう、上対馬には比田勝港があって、そこには韓国からも入ります。巖原は巖原で韓国の船が入ってきます。国道382号線につながっております。ところが、これから南部のほうはどうなんですかという、南部は開発がない、置き去りにされますよ。だから、そういうことも含めた中で、巖原をぐるっとこうして、佐須から豆殿を回ってくるということになってくると、あそこが首根っこになるんですよ、豆殿が。その道路改良をやって、豆殿の支所跡を道の駅的なものをつくって、韓国客がそこに入ってきて、あそこにはたくさん史跡、文化財ありますから、観光するところはたくさんあるんですよ、あそこで。だから、そこにバスをとめて、ずっと回ってもらえばいいわけでしょう。やり方はあると思いますよ。そういうことも含めて、ちょっと御答弁を願います。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 乱川の件だと思いますけども、先ほども答弁いたしましたように、まず、今の川が市の河川、そして護岸のほうが県の道路兼用護岸になっているというようなことで、今、県のほうとも既に協議はさせていただいているところなんですけども、まず、先ほど申しましたように、張り出せるところから張り出していこうと。ただ、それを全体、議員さんおっしゃられるように、広げることができるかどうかは、ちょっと今の時点では言えませんが、何せ張り出せるところから張り出していこうというようなことで計画を進めてまいりたいというふうに考えております。

○議長（堀江 政武君） 4番、船越洋一君。

○議員（4番 船越 洋一君） 時間がだんだんなくなってきましたけれども、市長、私とこうやってやってたほうが、まだあと1時間ぐらいはやってもいいと思うんですけどね、時間があ

せん、あと4分しかありませんが。

とにかく、やっぱりちまちましたことを考えて小手先でやっていっても、後からどっちゃせい、やりかえないかんというような状況に入りますんでね、計画をしっかり立てていただいて、それでそこをバスがバーバー通ると、もう下はぐるっと回られるぞというぐらいのことをせないかん。先ほど言うた殿浜線にしても小茂田から回ります。そうすると、久根田舎には安徳天皇の御陵墓があります。行こうと思えば、ずっとあるんですよ。久根浜のお寺がありますね、ここには仏像がありますよ。そういうのを一つ一つ行けばルートはでき上がるんですよ。しかし、それにはやはり市長と言われる交通アクセス、それをしっかりせんと回れません。それをひとつ、しっかり計画を立てて早期に実現できるように頑張ってみてください。その決意をちょっとお願いします。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 決意ということでございますけども、私自身できる限りのことは一生懸命頑張っている所存でございます。議会、そしてまた市民の皆様のお力をお借りしながら、ともにやっていきたいというふうに思っております。よろしく願いいたします。

○議長（堀江 政武君） 4番、船越洋一君。

○議員（4番 船越 洋一君） 余り心強い返事じゃなかったんですが、やはり対馬の首長として、3万2,000人の島民の代表ですから、私に任せなさいということで、あなた、選挙に通って、そこに座るとるわけですから、よし、任しとけと、やるぞという気合いは見せていただきたいと思います。そういうことを市民の皆さんは期待しとると思いますので、しっかりと腰を据えて、ちまちましたことをやるんじゃなしに大きく視野を捉えてやってみてください。よろしく願いしておきます。

終わります。

○議長（堀江 政武君） これで、船越洋一君の質問は終わりました。

○議長（堀江 政武君） 暫時休憩します。再開は2時5分からとします。

午後1時48分休憩

午後2時04分再開

○議長（堀江 政武君） 再開します。

10番、波田政和君。

○議員（10番 波田 政和君） 皆様、大変お疲れさまです。会派つしまの波田政和でございます。まず、質問に入る前に、先般行われました市長選挙におかれまして、島内有権者の過半数の支持を受け、対馬市政のリーダーとして抜てきされました比田勝市長の御誕生をお喜びするとと